

問1 アフリカの熱帯地域で見られる、カカオやコーヒーといった特定の輸出用商品作物を大規模に栽培する農園の名称と、その成り立ちについて説明した文として、最も適切なものはどれか。（2023年 奈良公立入試 類似）

1. プランテーションと呼ばれ、植民地時代にヨーロッパ諸国によって輸出用作物を生産するために開発された。
2. 焼畑農業と呼ばれ、森林や草原を焼いてその灰を肥料とし、主に自給用のイモ類などを栽培するために始まった。
3. オアシス農業と呼ばれ、砂漠などの乾燥した地域において湧き水や地下水路を利用して作物を栽培するために発展した。
4. スクラップアンドビルドと呼ばれ、老朽化した農地を一度更地にしてから最新の設備を導入する近代的な手法で拡大した。

問2 アフリカ大陸の北東部を内陸から北の地中海に向かって流れ、その流域において古代エジプト文明を成立させた、世界で最も長い距離を持つ河川を次の中から選びなさい。（2023年 三重公立入試 類似）

1. ナイル川
2. インダス川
3. アマゾン川
4. ライン川

問3 アフリカ州の農業に関する説明として、コートジボワールで盛んなカカオ栽培の特徴を正しく述べたものはどれですか。（2018年 千葉県公立入試 類似）

1. 高温多雨な熱帯の気候を利用して大規模に栽培され、主に先進国へ輸出される。
2. 乾燥に強い性質を利用して、サハラ砂漠周辺のオアシスで主に栽培される。
3. 地中海沿岸の冬に雨が多い気候を利用し、果樹栽培の一環として行われる。
4. 標高の高い高原地帯の涼しい気候を好み、イギリスへの輸出を目的として始まった。

問4 アフリカ州において、人口増加が続く中で栄養不足人口の割合が高い水準で推移している背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 新潟公立入試 類似）

1. 特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼るモノカルチャー経済の構造が残り、自国向けの食料生産や確保が不安定になりやすいため。
2. 急速な工業化の進展により、農村部から都市部へ人口が完全に移動したことで、農地がすべて工業団地や住宅地に転用されたため。
3. アフリカ全土で出生率が急速に低下しており、将来の食料需要が減ることを見越して、各国政府が意図的に食料生産量を制限しているため。
4. 主食となる作物の生産量は人口増加を上回っているが、他州への輸出を優先させる国際条約が結ばれているため、国内に食料が流通しないため。

問5 アフリカ大陸の乾燥した地域で見られる、羊やヤギ、ラクダなどの家畜を飼育する伝統的な生活様式について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. わずかな水や草を求めて、家畜とともに家族や集団で移動しながら飼育する形態
2. 広大な土地を柵で囲い、特定の場所に定住して牛や馬を大規模に飼育する形態
3. 先進国向けの輸出を目的として、特定の農産物を大規模な農園で栽培する形態
4. 大型の機械や化学肥料を使い、広大な土地で小麦などの穀物を栽培する形態

問6 南アフリカ共和国で長年続いた人種隔離政策（アパルトヘイト）の廃止とその後の経緯について述べた文として、正しいものはどれですか。（2021年 千葉県公立入試 類似）

1. 反アパルトヘイト運動を指導して長年投獄されていたネルソン・マンデラが釈放され、後に同国初の黒人大統領となった。
2. 国際連合はこの政策を人道的であると評価し、南アフリカ共和国への経済協力を積極的に進めた。
3. 1960年の「アフリカの年」に、多くのアフリカ諸国が独立したことに合わせて、南アフリカでも即座に廃止された。
4. 現在は差別が完全に解消されたため、南アフリカ共和国は「虹の国」と呼ばれ、経済的格差も全く存在しない。

問7 世界の各州における人口と経済規模の関係について、人口が10億人を超える高い水準にありながら、州全体の国内総生産（GDP）が10兆ドルを大幅に下回り、他の州と比較して経済規模が著しく低い状況にある州はどこですか。（2026年 栃木公立入試 類似）

1. アジア州
2. ヨーロッパ州
3. アフリカ州
4. オセアニア州

問8 アフリカ大陸の地図を確認すると、国境線が経線や緯線に沿った直線となっている箇所が多く見られます。このような国境線が引かれることになった歴史的な経緯として最も適切なものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 19世紀後半以降、ヨーロッパの諸国が自国の都合で植民地の境界を決定したため
2. アフリカ諸国が独立する際、民族や言語の分布を調査して公平に分割したため
3. 砂漠や平原などの起伏の少ない地形が続くため、自然物を境界にすることができなかったため
4. アフリカ大陸には大きな河川や山脈が存在しないため、測量技術を用いて人工的に引いたため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 プランテーションと呼ばれ、植民地時代にヨーロッパ諸国によって輸出用作物を生産するために開発された。	熱帯地域で見られる大規模な農園はプランテーションと呼ばれます。これはかつての植民地時代に、宗主国であるヨーロッパ諸国が自国への輸出や国際市場での利益を目的に開発した歴史的背景を持っています。カカオ、コーヒー、天然ゴムなどの特定の作物を大量に生産する体制が、現在のアフリカ諸国の経済構造にも大きな影響を与えています。
問2	答え 1 ナイル川	アフリカ大陸の北東部を流れるナイル川は、全長約6,650kmに及び世界最長の河川です。周囲の多くが砂漠地帯であるなかで、この河川は貴重な水資源となり、流域には古代エジプト文明が誕生しました。一方、インダス川は南アジア、アマゾン川は南アメリカ、ライン川はヨーロッパを流れる河川です。
問3	答え 1 高温多雨な熱帯の気候を利用して大規模に栽培され、主に先進国へ輸出される。	カカオは熱帯雨林気候などの高温多雨な環境を好む作物です。コートジボワールなどのギニア湾沿岸諸国では、かつての植民地支配の影響もあり、輸出用の商品作物を育てる大規模な農園が多く見られます。一方で、コーヒーは比較的標高の高い場所を好むなど、作物によって適した環境が異なります。
問4	答え 1 特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼るモノカルチャー経済の構造が残り、自国向けの食料生産や確保が不安定になりやすいため。	アフリカの多くの国では、植民地時代からの名残で特定の農産物（コーヒー、カカオなど）や資源の輸出に依存するモノカルチャー経済の傾向があります。この構造は国際価格の変動に弱く、自給用の食料生産が後回しにされやすいため、急激な人口増加に食料供給が追いつかず、栄養不足人口の割合が高止まりする一因となっています。
問5	答え 1 わずかな水や草を求めて、家畜とともに家族や集団で移動しながら飼育する形態	降水量が極めて少ない乾燥帯では、一年を通じて同じ場所で家畜を育てるための草や水が不足します。そのため、家畜の餌となる草や水を追い求めて、人間が移動しながら生活する「遊牧」が行われてきました。これに対し、定住して広い牧場で行うものは「放牧」や「商業的牧畜」と呼ばれ、遊牧とは区別されます。
問6	答え 1 反アパルトヘイト運動を指導して長年投獄されていたネルソン・マンデラが釈放され、後に同国初の黒人大統領となった。	アパルトヘイトは、国際社会からの経済制裁や国内の激しい抵抗運動により、1990年代初頭に廃止されました。1994年には全人種が参加する初の総選挙が行われ、反アパルトヘイト運動の象徴であったネルソン・マンデラが大統領に就任しました。しかし、現在でも当時の政策の名残による経済的格差などの課題は残っています。
問7	答え 3 アフリカ州	世界の人口分布において、アジア州に次いで人口が多いのがアフリカ州であり、その数は10億人を超えています。しかし、かつての植民地支配の影響や、特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼るモノカルチャー経済の構造などが要因となり、経済発展の指標となる国内総生産（GDP）は、人口規模に対して非常に低い水準に留まっているのが現状です。
問8	答え 1 19世紀後半以降、ヨーロッパの諸国が自国の都合で植民地の境界を決定したため	19世紀後半、ヨーロッパの列強諸国はアフリカを植民地化する際、現地の民族分布や文化、伝統的な勢力範囲を無視して、地図上の経線や緯線を利用して便宜的に境界線を引きました。この人為的な国境線は、独立後も引き継がれたため、一つの国の中に複数の民族が混在したり、一つの民族が複数の国に分断されたりすることになり、後の民族紛争の原因の一つとなりました。